

CX-Programmer のVer. 6以降での「I/O テーブル」作成について

はじめに

CJ、CSシリーズでは、PLCの「I/Oテーブル」を作成する場合下記の2つの方法があります

- ・電源ON時自動的にI/O割り付る方式
- ・「I/Oテーブル作成」操作による方式

「電源ON時自動的にI/O割り付る方式」では、最初に電源をONした時、その時点で装着されているユニットの情報をもとにI/Oテーブルが自動的に作成されます。

ユニットの誤装着をチェックする必要がない場合は、この方法でI/Oテーブルの作成をする事が可能です。

「I/Oテーブル作成操作」による方式では、オムロン株式会社「CX-Programmer」によってI/Oテーブルを作成します。

以下では、「I/Oテーブル作成操作」で作成する場合の手順についてAFCJ01を例に説明します。

なお「I/O テーブル」についての詳細は、オムロン株式会社「CX-Programmer オペレーションマニュアル」をご覧ください。

1. CPSファイルのインストール

CX-Programmer のVer. 6以降をご使用の場合には、Anywire製品のCPSファイル(CPS:Component and network Profile Sheet)をインストールして、CX-Programmerをカスタマイズしてください。

このCPSファイルは、弊社Webサイトからダウンロードしていただくか弊社営業あてご請求ください。

ご不明点は、弊社営業にお問い合わせください。

■Anywire製品のCPSファイル

AFCJ01用CPSファイル	CPS_AFCJ01_Ver1_0.xml
AFCJ01-D2用CPSファイル※1	CPS_AFCJ01-HX_Ver1_0.xml
AFCJ02用CPSファイル	CPS_AFCJ02_Ver1_0.xml
AFCJ01用CPSファイル	CPS_AFCJ01_Ver1_0
AFCJ01-D2用CPSファイル	CPS_AFCJ01-D2_Ver1_0
AFCJ02用CPSファイル	CPS_AFCJ02_Ver1_0

※1 : この機種は、表示名が「AFCJ01-HX」となります。

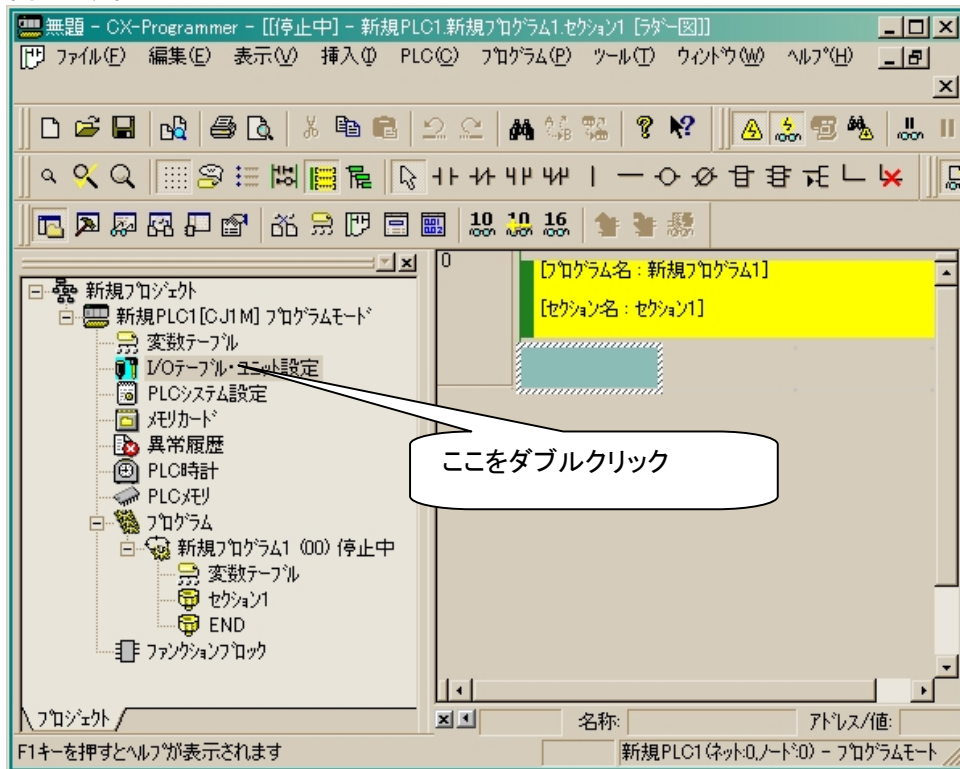
なお、CX-Programmer にCPSファイルをインストールしていなくても、PLCがオンライン状態であれば、実装ユニットからI/Oテーブルを作成することは可能です。

ただし、ユニット名が「他の高機能I/Oユニット(A)」と表示されます。

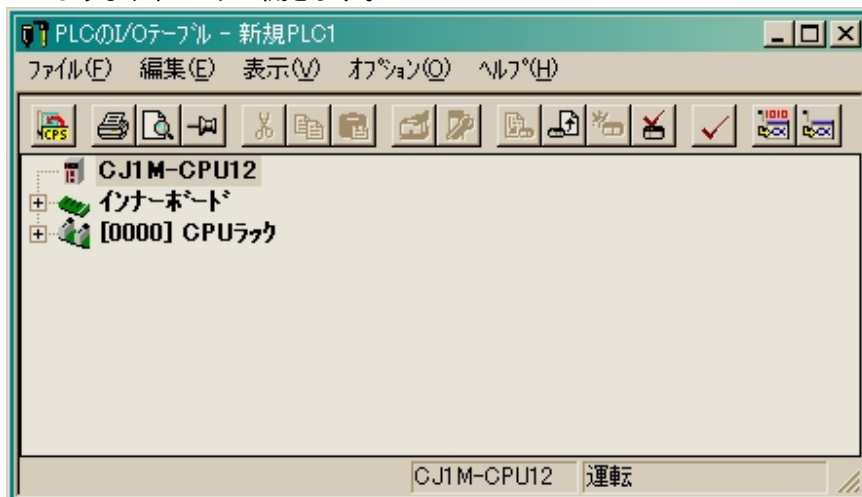
1-1.インストール手順

まずGPSファイルを適当なフォルダーにコピーしておいてください。

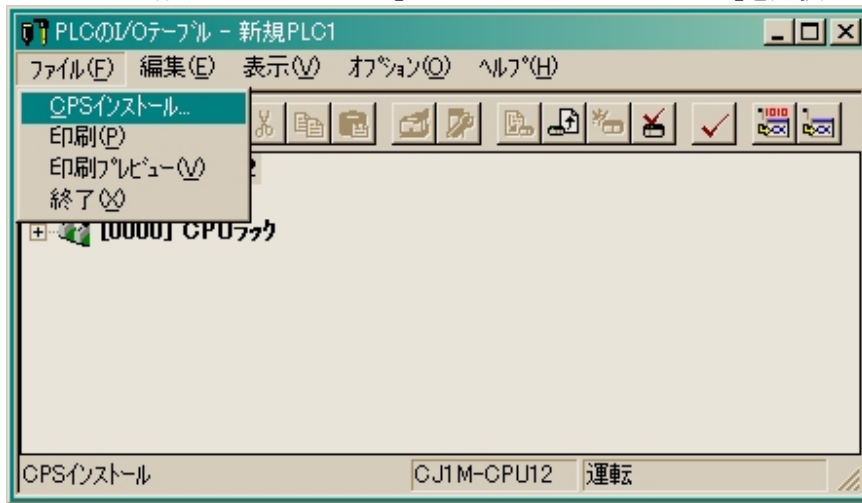
1-1-1. プロジェクトウィンドウの「I/Oテーブル・ユニット設定」をダブルクリックしてI/Oテーブル作成画面を開きます。



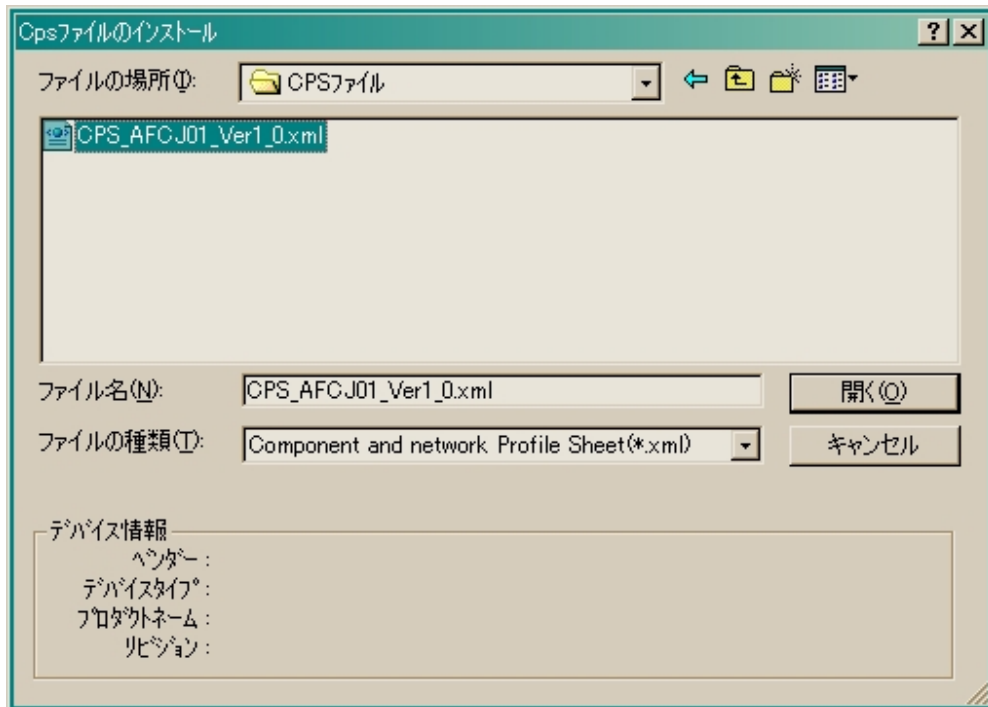
このようなウィンドウが開きます。



1-1-2. I/Oテーブル作成画面の「ファイル」メニューの「CPSインストール」を選択します。



1-1-3. CPSファイルを選択し「開く」を押します。



このウインドウの場合、AFCJ01のCPSファイルがインストールされます。
CX-Programmerを終了し、再び立ちあげるとインストール完了です。

2. I/Oテーブルの作成

実装ユニットからI/Oテーブルを作成する方法(I/Oテーブル作成)と、オフラインでI/Oテーブルを編集する方法の2通りがあります。

以下に、AFCJ01を例に手順を記します。

2-1.実装ユニットからI/Oテーブルを作成する場合

「I/O テーブル作成」は、実際に装着されているユニットの種類と装着位置を、登録I/O テーブルとしてPLCに書き込む機能です。

まず、**オンライン接続**されていることを確認してください。

オンライン接続されていない場合は、メインウィンドウで[PLC] → [オンライン接続]を選択してください。

次に、PLCの動作モードが「**プログラムモード**」であることを確認してください。

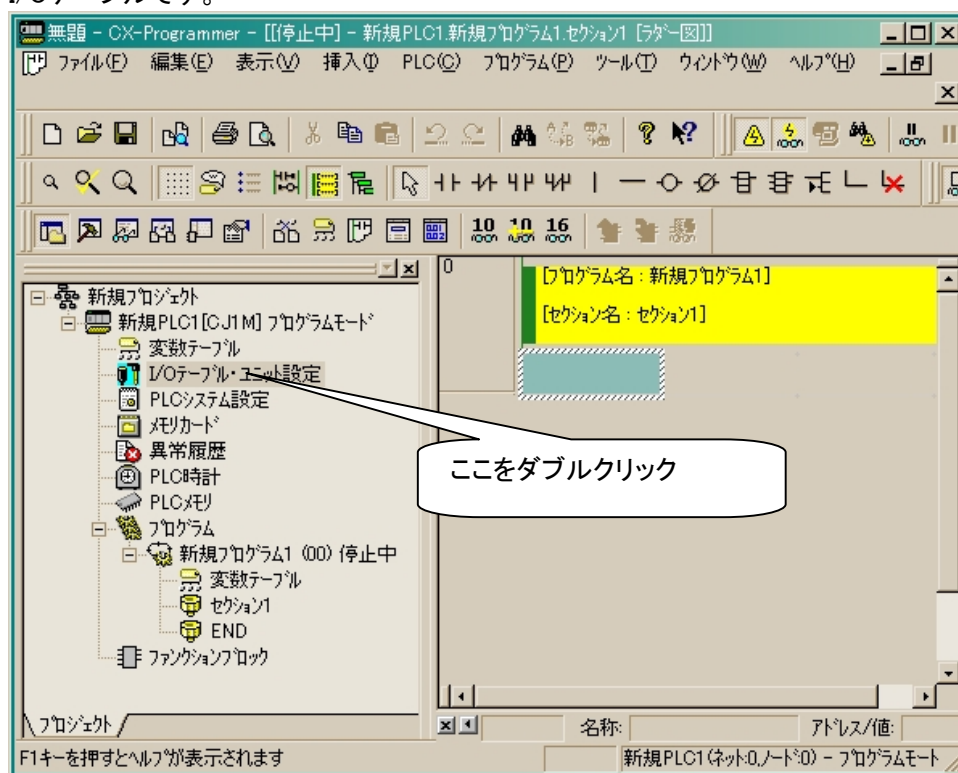
他のモードの場合は、メインウィンドウで[PLC] → [動作モード] → [プログラム]を選択してください。

手順

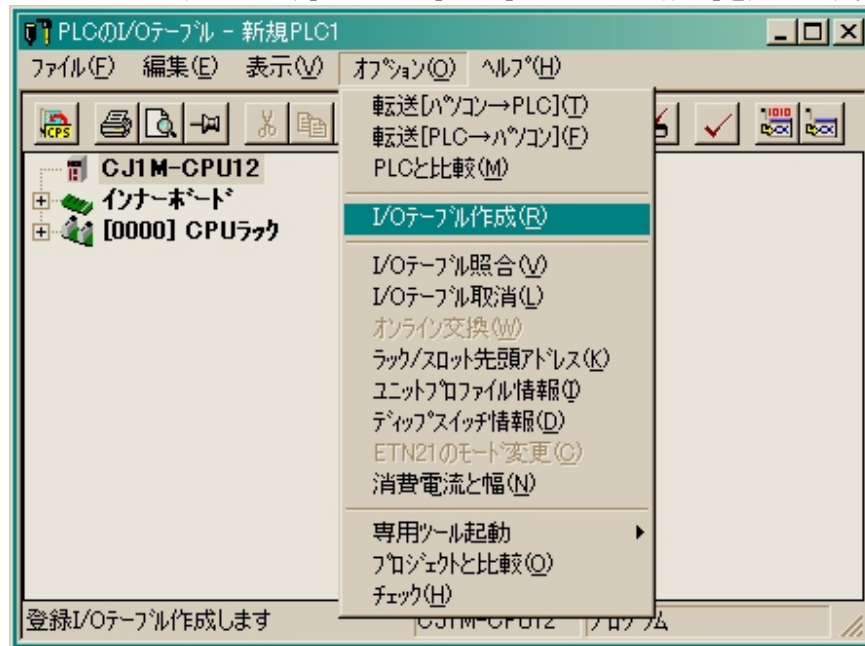
2-1-1. メインウィンドウのプロジェクトツリーで、[I/Oテーブル・ユニット設定]をダブルクリックします。

I/O テーブルウィンドウが表示されます。

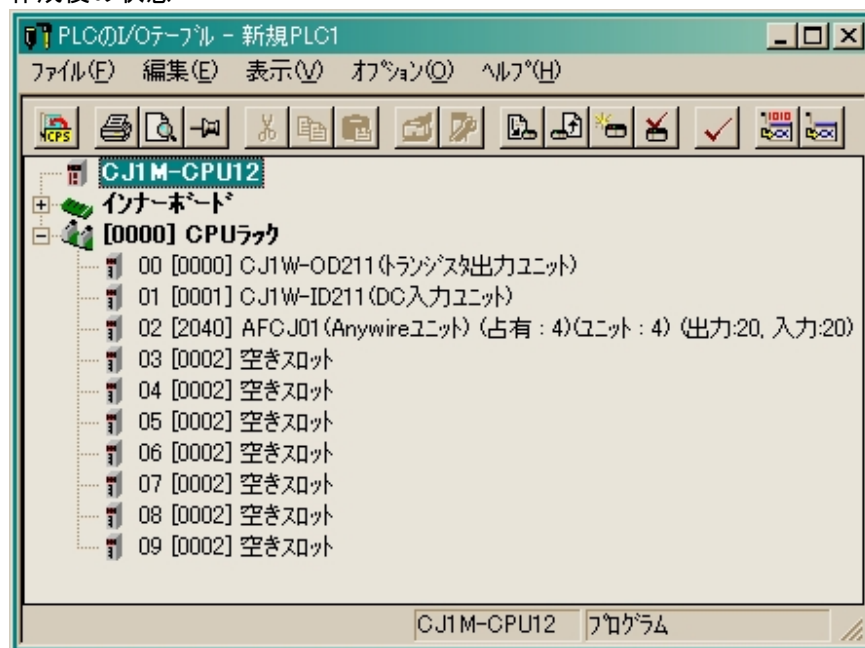
ここで表示されるI/O テーブルは、I/O テーブルの編集で使用する、CX-Programmer上のI/Oテーブルです。



2-1-2. I/Oテーブルウィンドウで、[オプション] → [I/Oテーブル作成]を選びます。



作成後の状態



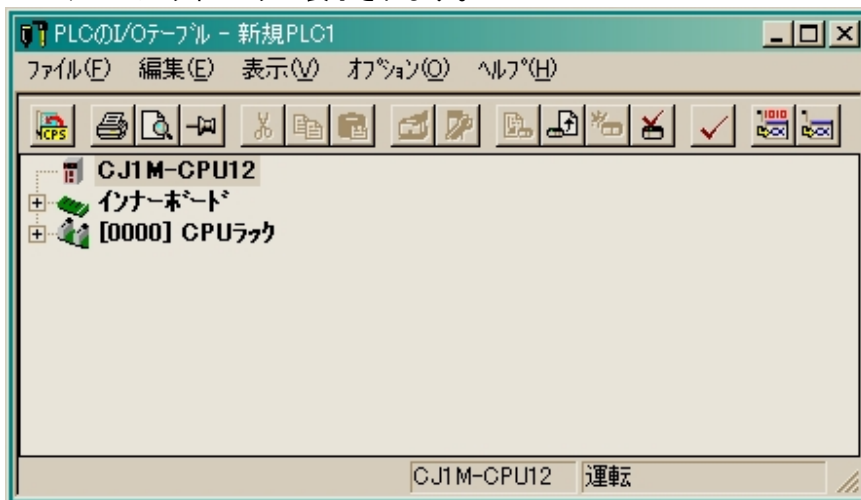
この時点で実際に装着されているユニットの種類と装着位置が、登録I/O テーブルとしてPLCに書き込まれましたので、そのまま次の作業に移行する事ができます。

- ＜注意＞
- 1.CPSファイルをインストールしていない場合は「他の高機能I/Oユニット(A)」と表示されます。
 2. AFCJ01-D2を装着し設定した場合でも、表示はAFCJ01となります。

2-2. オフラインでI/Oテーブルを編集する場合

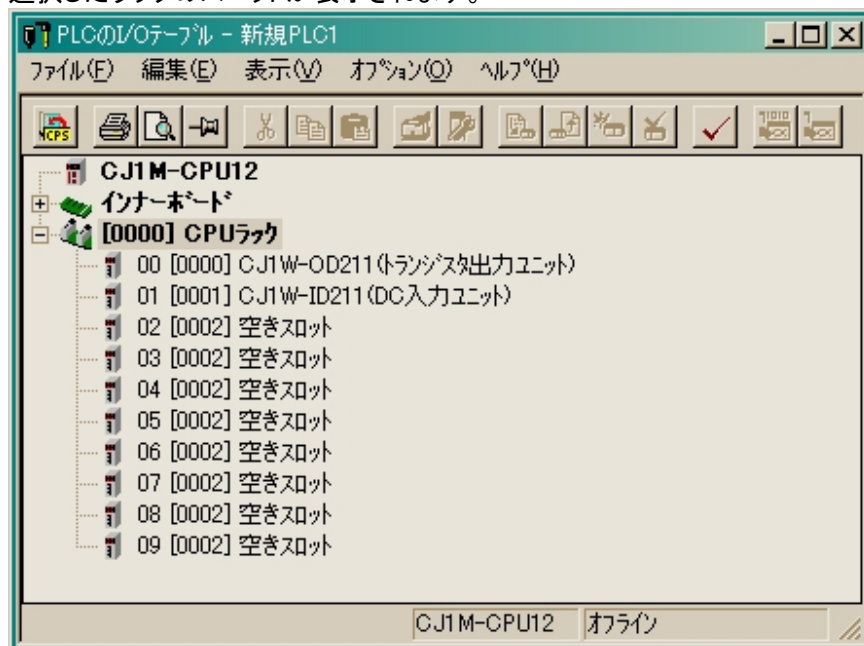
手順

- 2-2-1. メインウィンドウのプロジェクトツリーで、[I/Oテーブル・ユニット設定]をダブルクリックします。
I/O テーブルウィンドウが表示されます。



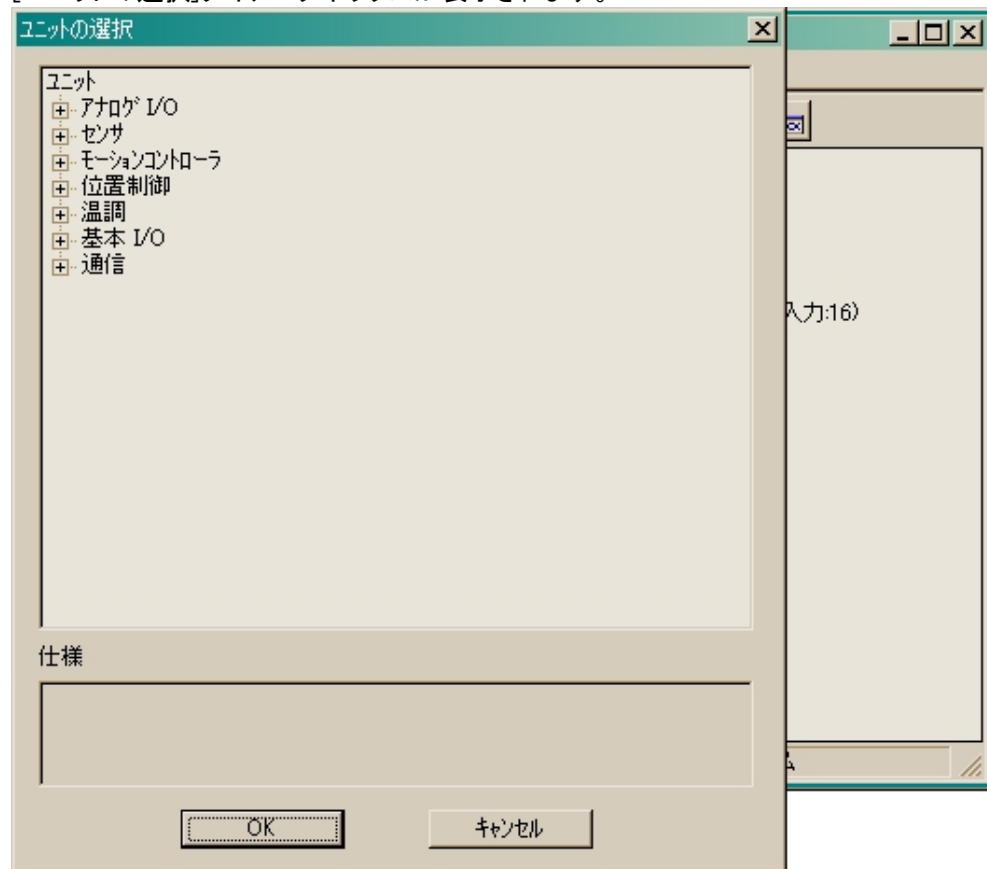
編集するラックをダブルクリックすることにより選択します。

選択したラックのスロットが表示されます。



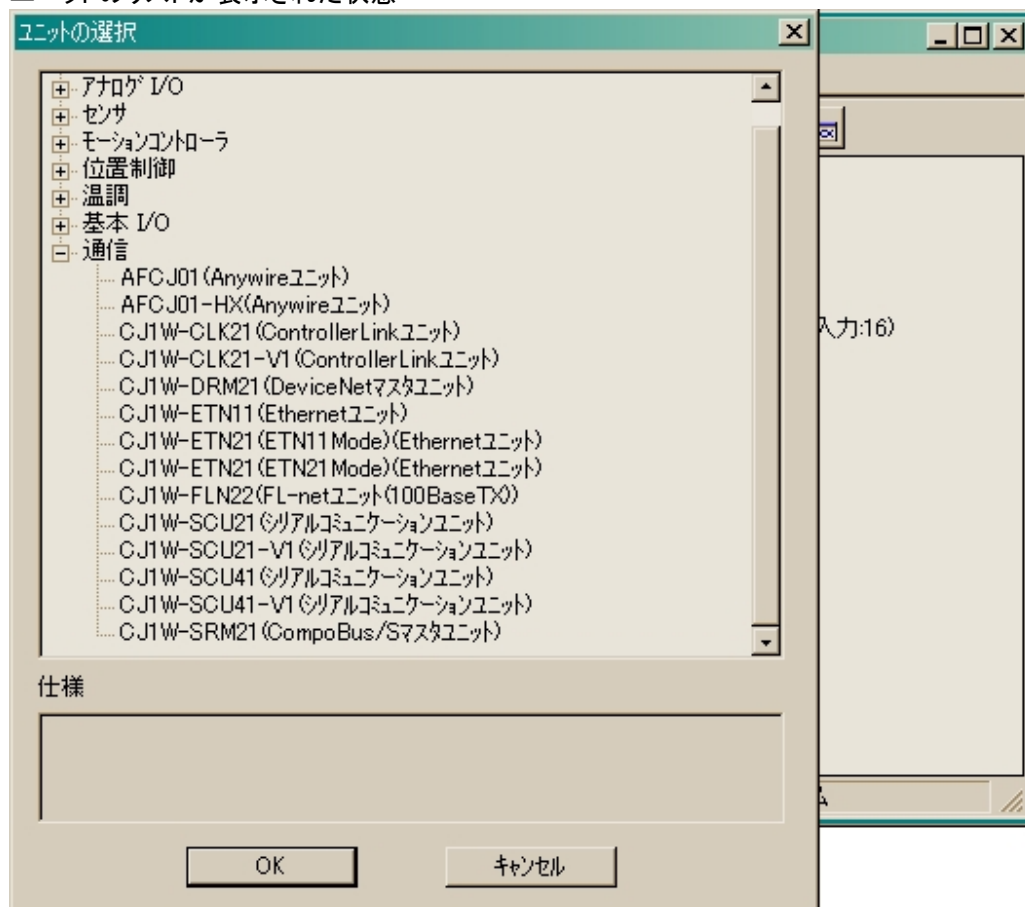
ユニットを割り付けるスロットを右クリックして、[ユニットの追加]を選択します(またはスロットをダブルクリックします)。

[ユニットの選択]ダイアログボックスが表示されます。



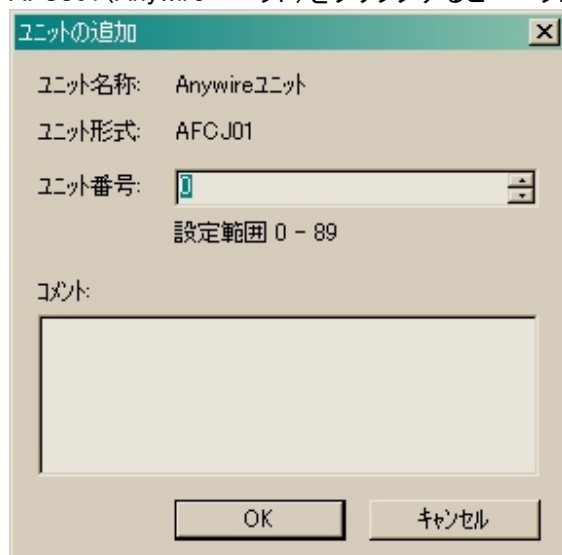
「通信」をダブルクリックするか、前の「+」をクリックするとユニットのリストが表示されその中に AFCJ01 (Anywireユニット) がありますので選択してください。

ユニットのリストが表示された状態



<注意> Anywire製品のCPSファイルをインストールしていないとリストに表示されません。

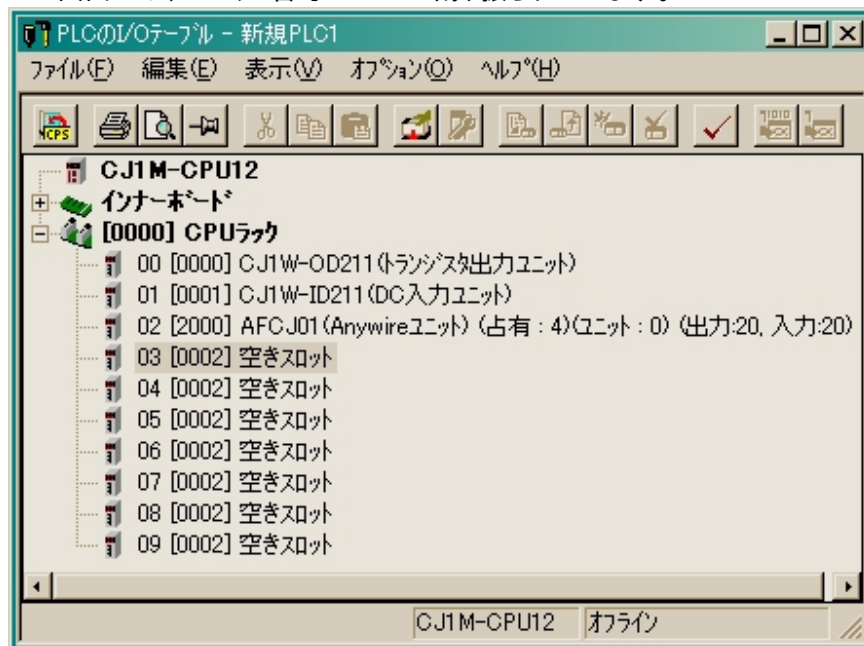
AFCJ01 (Anywireユニット)をクリックするとユニットの追加画面が開きます。



ユニット番号はAFCJ01の号機No.で自動的に割り振られます。
変更することも可能ですが他のスロットと重複しないようにご注意ください。
OKをクリックしてください。

実際に割り振られた状態

この画面では、ユニット番号が“02”に割り振られています。



以上で、I/Oテーブルが作成されました。

必ず、PLCをオンラインにして作成したI/Oテーブル情報をアップロードしてください。

以上